

地域科学特別演習Ⅰ

8単位 (必修) 1年 (通年), 2年 (通年)
村田 明広・教授 / 地域科学専攻 (博士前期課程) 基盤科学

【授業目的】地質構造に関する研究手法を学ぶ。

【授業概要】秩父帯・四万十帯などの付加体の衝上構造, 和泉層群の地質構造, 西南日本外帯の横ずれ断層などに関して, 主に野外調査を中心にして地質構造に関する研究を行う。

【キーワード】秩父帯, 四万十帯, 付加体, 地質構造

【到達目標】地質構造に関するテーマを設定し, その解決方法を考え, 実際に野外調査・実験を通して解決できる能力を身につけることを目標とする。

【授業計画】

1. 修論の研究テーマを設定し, それに関する先行研究について調査する。
2. 先行研究に関する問題点を抽出する。
3. 修論の研究テーマの解決方法を検討し, どこまで明らかにすればよいかを探る。
4. 実際に野外調査を行う。
5. 問題を解明するために, 室内での実験等を行う。
6. 随時, 研究室のセミナー等で発表し, 討論を重ねる。
7. 修士論文を作成する。
8. 研究成果の発表・討論を通じて, さらに研究を深める。

【成績評価】修論のテーマに関する問題解決に向けての野外調査, 室内実験, セミナー発表等の取り組み方や, 修士論文のまとめ方, 発表会での質疑応答などを総合的にみて評価する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218067>

【連絡先】

⇒ 村田 (総合科学部 3号館 2S03, 088-656-7242, murata@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 在室中は, いつでも可。)